

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成29年12月】

■調査概要（データ対象期間：平成29年12月1日～12月31日）

- 調査期間：平成29年12月27日～平成30年1月23日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業24企業、製造業22企業、卸売業16企業、小売業30企業  
飲食業17企業、サービス業41企業（運輸、不動産仲介業を含む）  
<合計150企業>
- 調査項目：12月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価  
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

## 業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

### 1. 業況判断

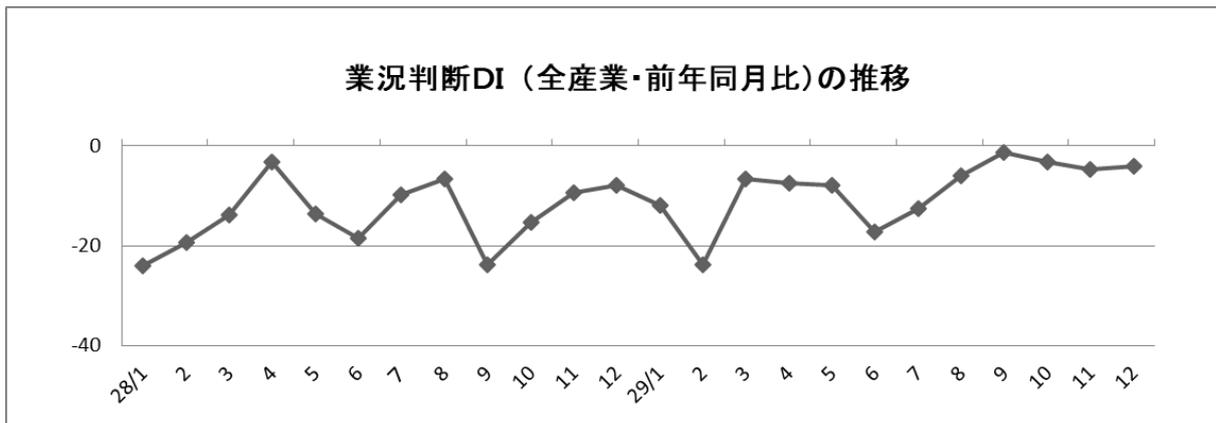
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲4.7）よりマイナス幅が0.7ポイント縮小し、▲4.0となった。業種別では、卸売業、建設業はプラス幅が拡大した。小売業、製造業はマイナス幅が縮小した。飲食業は0からマイナスになった。サービス業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲7.4）よりマイナス幅が0.1ポイント縮小し、▲7.3となった。業種別では、建設業はプラス幅が拡大した。卸売業は0からプラスに転じた。製造業はマイナスから0になった。小売業、サービス業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	17.3 (14.0)	61.4 (67.3)	21.3 (18.7)	↗ ▲ 4.0 (▲ 4.7)	18.7 (15.3)	55.3 (62.0)	26.0 (22.7)	↗ ▲ 7.3 (▲ 7.4)
建設業	20.8 (16.0)	70.9 (76.0)	8.3 (8.0)	↗ 12.5 (8.0)	16.7 (12.0)	75.0 (80.0)	8.3 (8.0)	↗ 8.4 (4.0)
製造業	18.2 (20.0)	54.5 (50.0)	27.3 (30.0)	↗ ▲ 9.1 (▲ 10.0)	31.8 (20.0)	36.4 (50.0)	31.8 (30.0)	↗ 0.0 (▲ 10.0)
卸売業	25.0 (20.0)	68.7 (66.7)	6.3 (13.3)	↗ 18.7 (6.7)	12.5 (20.0)	81.2 (60.0)	6.3 (20.0)	↗ 6.2 (0.0)
小売業	13.3 (10.3)	56.7 (58.7)	30.0 (31.0)	↗ ▲ 16.7 (▲ 20.7)	20.0 (17.2)	40.0 (48.3)	40.0 (34.5)	↘ ▲ 20.0 (▲ 17.3)
飲食業	11.8 (17.6)	58.8 (64.8)	29.4 (17.6)	↘ ▲ 17.6 (0.0)	23.5 (11.8)	35.3 (64.7)	41.2 (23.5)	↘ ▲ 17.7 (▲ 11.7)
サービス業	17.1 (9.1)	60.9 (77.3)	22.0 (13.6)	↘ ▲ 4.9 (▲ 4.5)	12.2 (13.6)	63.4 (65.9)	24.4 (20.5)	↘ ▲ 12.2 (▲ 6.9)

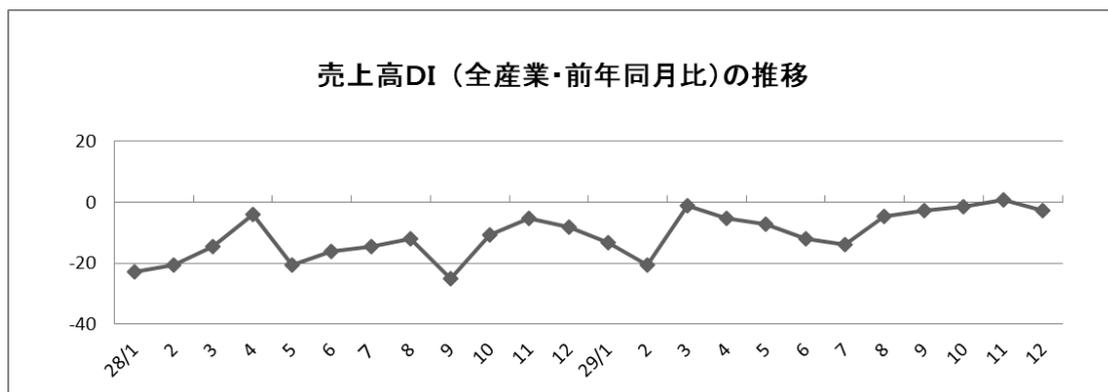
( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計  
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



## 2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（0.7）よりマイナスに転じ、▲2.6となった。業種別に見ると、卸売業、建設業はプラス幅が拡大した。小売業はマイナス幅が縮小した。サービス業、製造業、飲食業は0からマイナスとなった。

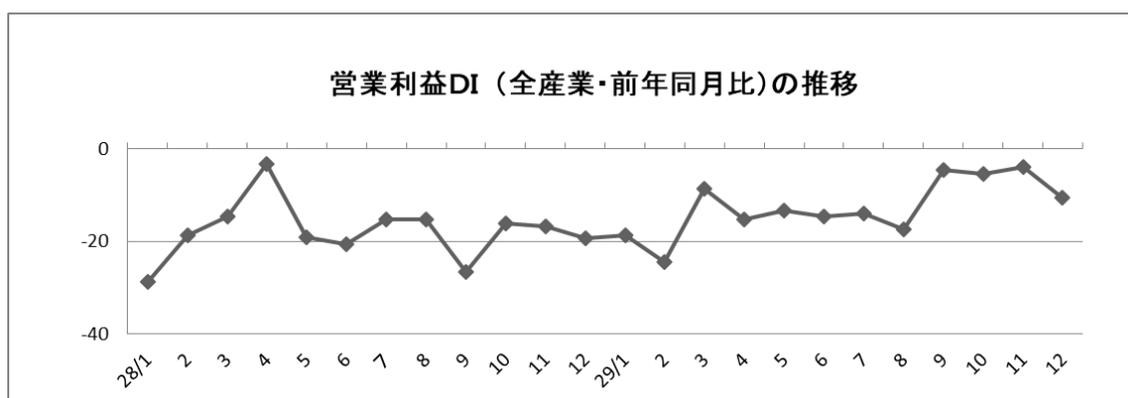


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全 体	▲ 8.0	▲ 13.2	▲ 20.6	▲ 1.3	▲ 5.4	▲ 7.3	▲ 12.0	▲ 13.9	▲ 4.6	▲ 2.7	▲ 1.4	0.7	▲ 2.6
建 設 業	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 19.1	▲ 28.0	▲ 14.3	0.0	8.7	23.8	13.7	20.0	20.9
製 造 業	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲ 9.1	0.0	▲ 31.8	8.7	5.2	▲ 4.5	0.0	▲ 13.7
卸 売 業	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6	16.6	▲ 33.4	0.0	20.0	0.0	13.4	13.4	25.0
小 売 業	16.1	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0	0.0	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 15.2	▲ 16.1	▲ 12.9	▲ 20.7	▲ 16.7
飲 食 業	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 44.4	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	0.0	▲ 23.5
サービス業	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 11.6	8.9	▲ 4.6	▲ 5.0	0.0	2.4	▲ 22.5	▲ 4.2	4.9	0.0	▲ 2.5

## 3. 営業利益DI（前年同月比）

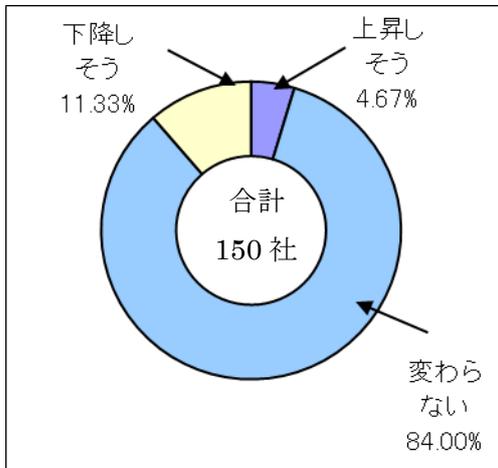
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲4.0）よりマイナス幅が6.6ポイント拡大し、▲10.6となった。業種別に見ると、卸売業はマイナスから0となった。小売業はマイナス幅が縮小した。飲食業は0からマイナスとなり、製造業、建設業はプラスからマイナスに転じた。サービス業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全 体	▲ 19.3	▲ 18.6	▲ 24.5	▲ 8.6	▲ 15.3	▲ 13.3	▲ 14.7	▲ 13.9	▲ 17.3	▲ 4.6	▲ 5.3	▲ 4.0	▲ 10.6
建 設 業	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 4.7	▲ 21.8	4.7	13.6	8.0	▲ 4.2
製 造 業	▲ 10.0	0.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 36.4	▲ 8.7	5.2	▲ 9.1	5.0	▲ 4.6
卸 売 業	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3	8.3	▲ 20.0	▲ 6.6	13.4	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3	0.0
小 売 業	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 17.6	▲ 21.2	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 20.7	▲ 20.0
飲 食 業	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 21.4	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5
サービス業	▲ 17.8	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 2.2	▲ 14.0	▲ 7.5	▲ 2.3	4.9	▲ 25.0	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 2.3	▲ 9.8

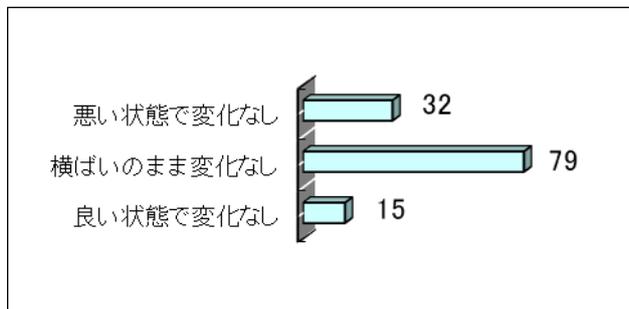
◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



○平成30年1月～平成30年3月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.67ポイント減少し4.67%、「下降しそう」が4.67ポイント増加し11.33%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(▲9.1)、卸売業(▲6.2)、小売業(▲13.3)、飲食業(▲17.6)、サービス業(0.0)であった。

➡「上昇しそう」では、「年度末までの受注量が多いため」(建設業)、「入試後の需要、春需に期待しているため」(卸売業)、「車検台数が多いため」「業務支援と開発案件について月次回収が見込めるため」「新商品が発売されるため」「新年度に向け研修の依頼があるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

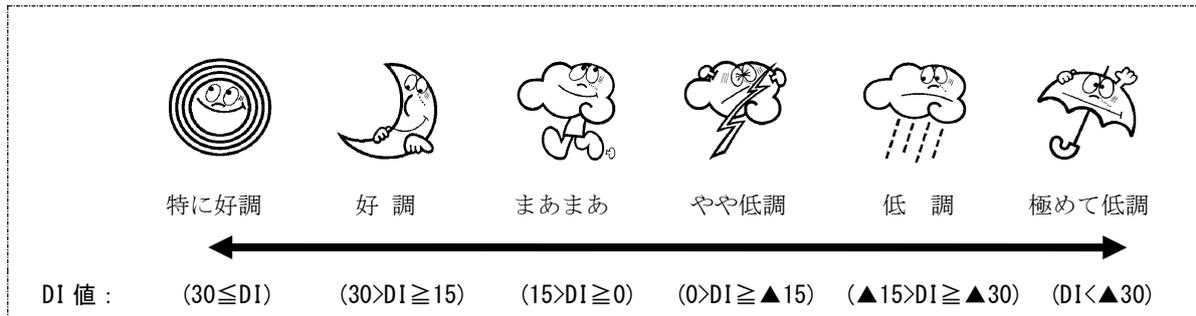
➡「変わらない」では、「公共施設、駅、宿泊、工場関連などが出件しているため」(建設業)、「ネット通販印刷のデフレの影響が止まらないため」「受注量好調のまま推移しそうなため」(製造業)といった声が寄せられた。



➡「下降しそう」では、「1月以降の受注量が少ないため」「公共工事の発注が少ないため」(建設業)、「今月が特に良かったため」「年初めは生産量、販売額共に減少するため」(製造業)、「薬価改定のため」「今月がとても好調であったため」(卸売業)、「今月ほどの業績はみこめないため」「寒波の影響で人出が見込めないため」「イオンモール松本の影響を受けているため」(小売業)、「最も暇な時期に入るため」「宴会の利用が少なくなるため」(飲食業)、「事業主の体調が芳しくないため」「年末年始の繁忙期が過ぎ物量もひと段落するため」「求人数の増加と求職者の減少により職業訓練受講希望者が減少しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 19.1	▲ 28.0	▲ 14.3	0.0	8.7	23.8	13.7	20.0	20.9
受注量	▲ 39.1	▲ 30.0	▲ 18.2	▲ 5.2	▲ 38.1	▲ 40.0	▲ 33.4	0.0	▲ 8.7	9.6	18.2	4.0	12.5
受注単価	▲ 21.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 4.8	▲ 12.0	▲ 4.8	4.8	0.0	4.7	▲ 4.6	0.0	▲ 12.5
営業利益	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 4.7	▲ 21.8	4.7	13.6	8.0	▲ 4.2
見通し	▲ 4.4	0.0	4.6	10.5	0.0	16.0	9.5	14.2	4.4	0.0	▲ 4.5	4.0	0.0

## <経営者の目・見方・etc>

鉄工

・来年は最大の盛り上がり、需要は好調、繁忙期を迎える。単価も上がって欲しい。

・このまま5月ごろまで特に動きはなさそうである。

電気工事

・特に変化なし。静かな年末となった。大型案件もなく、来年に期待するしかない。

管工事

・例年より繰越しの工事があった。来年が心配である。見直していきたい。

土木工事

・再生可能エネルギーの普及が日本は遅れているのではないかと。

・土木業界は比較的受注物件が多いと思われる。年度をまたぐ繰越し工事も増加している。

## 2. 製造業



### 【項目別DIの推移】

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	0.0	0.0	▲4.5	5.0	16.7	▲9.1	0.0	▲31.8	8.7	5.2	▲4.5	0.0	▲13.7
受注量	▲10.0	▲9.1	▲4.5	▲15.0	4.2	▲18.2	0.0	▲27.3	4.3	15.8	▲9.1	0.0	▲13.6
受注単価	▲10.0	▲18.2	0.0	▲5.0	▲16.6	▲9.1	▲33.3	▲27.3	▲4.4	▲10.5	▲18.2	▲15.0	▲13.6
営業利益	▲10.0	0.0	▲9.1	▲10.0	▲4.1	▲9.1	▲4.7	▲36.4	▲8.7	5.2	▲9.1	5.0	▲4.6
見通し	▲5.0	0.0	9.1	▲20.0	▲4.2	▲4.5	▲4.7	▲4.5	0.0	▲5.3	0.0	▲5.0	▲9.1

### <経営者の目・見方・etc>

金属塗装

・新聞等の「景気は上昇している」との記事。先月までは信じられなかったのだが、今月は売上が前年比12%アップと大幅に伸びた。しかし、来年も続くか心配である。また、燃料費の高騰も気になる。

機械

・大型ショッピングモール進出につき、人の流れに変化があり。同様に人的資源も集中の傾向がある。

精密機械

・業界を問わず活況な様子である。

小型情報機器組立

・先の見通しはあまり良くない。

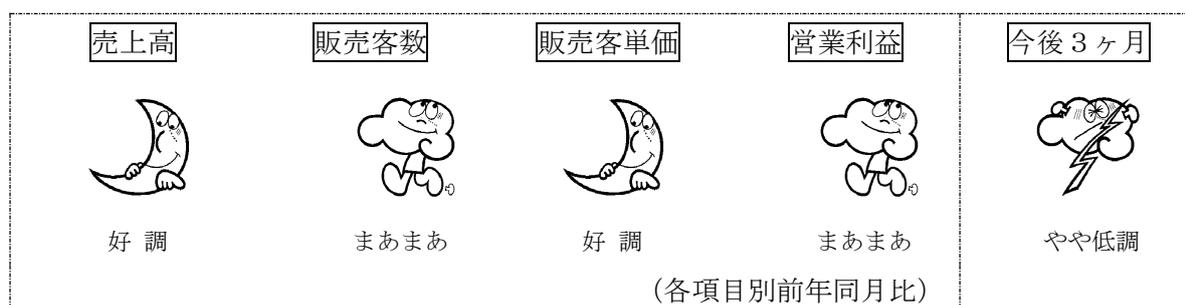
印刷

・昨年より受注の状況が芳しくない。  
・年賀状については郵便局でも印刷を受注するようになり、全体的な受注量はかなり減少傾向。地元印刷会社は AIJ 問題による組合の厚生年金基金解散により、国庫返納負担金が重くのしかかっているところが多い。しかし、相変わらず印刷物の大幅な値下げ傾向は収まらず、デフレ脱却が一切出来ていないために、そのまま多額の負担になっている状況がかなりあると思われる。また、デザイン等で相当額の印刷物へのお金が県外に流れている。地域内経済循環を求めたい。

紙器

・受注がロットごとで増している。少し景気が良くなっているように感じる。

## 3. 卸売業



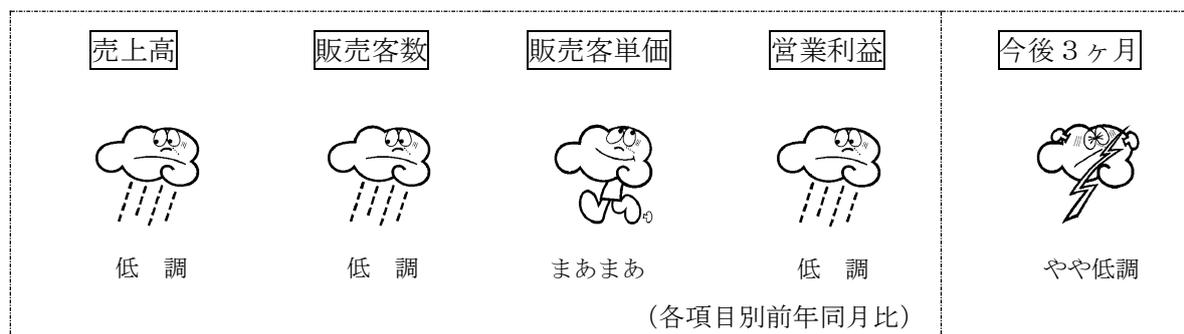
【項目別DIの推移】

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6	16.6	▲ 33.4	0.0	20.0	0.0	13.4	13.4	25.0
販売客数	▲ 25.0	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.2	0.0	▲ 20.0	6.6	6.7	0.0	▲ 6.7	6.6	0.0
販売客単価	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 14.3	0.0	▲ 26.6	0.0	6.7	▲ 8.4	6.6	13.3	18.8
営業利益	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3	8.3	▲ 20.0	▲ 6.6	13.4	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3	0.0
見通し	▲ 6.3	0.0	0.0	8.3	7.1	8.3	▲ 6.7	▲ 13.3	6.7	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 6.2

<経営者の目・見方・etc>

- 自転車
  - ・電動自転車が伸びている。乗る年齢層が広がってきている。若い人へも波及。高齢者の方も買い替えがある。パーツ類も伸長してきている。介護用品は安定している。雪が少なくスタッドレスタイヤは伸びなかった。
- 土産品
  - ・全体的に大きな伸びはなく、年末年始に期待している。平日の集客が落ち込み売上も横ばいである。
- 機械工具
  - ・お客様企業の吸収合併などがあり、変化の先行き状況を見極めたい。
  - ・雪が降らず動きやすかった。年末を意識した受注が多かった。
- 金属製品
  - ・地元加工屋は関東の物件を中心に仕事を沢山抱えている。ただ人手不足に苦労している。鉄相場はまだ上昇する見込み。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	16.1	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0	0.0	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 15.2	▲ 16.1	▲ 12.9	▲ 20.7	▲ 16.7
販売客数	0.0	3.1	▲ 41.2	▲ 8.3	▲ 3.0	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 17.6	▲ 9.1	▲ 16.1	▲ 22.5	3.5	▲ 30.0
販売客単価	6.4	▲ 12.1	▲ 32.3	0.0	▲ 11.7	▲ 5.9	▲ 20.6	▲ 23.5	▲ 24.3	▲ 19.3	0.0	▲ 10.4	0.0
営業利益	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 17.6	▲ 21.2	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 20.7	▲ 20.0
見通し	0.0	▲ 3.0	2.9	▲ 8.3	2.9	0.0	▲ 8.8	▲ 5.9	▲ 9.1	▲ 3.2	3.3	3.4	▲ 13.3

<経営者の目・見方・etc>

- 化粧品
  - ・業界としては都市部の百貨店等一部でのインバウンドの需要が非常に高く、メーカーの売上の伸びに貢献しているが地方では全く感じない。
- 住宅機器
  - ・先月に引き続き忙しい月であった。来月からは少し落ち着きそうである。
- 印章
  - ・近所に閉店の動きがありとても残念。
  - ・中心市街地における今年最大の出来事はイオンモール松本の開店であった。9月以降、人や車の流れが今までとは変わってきている。主要な通りにある老舗が店を畳むこのご時勢、来年は今まで以上に頑張らなければいけない。

ギフト商品・カレンダー  
・うちわ  
ショッピングセンター

- ・来店客の数と購入単価がともに減少。外商は変わらず。来年も外商販売、外へのアプローチを強化していく。
- ・販売チャンネルの増加により自家需要の動向は厳しい。一方でギフトに関しては依然として店頭販売の優位性は保たれている。引き続き付加価値の高い商材を扱うことを心がけたい。業界的に年末は首都圏を中心にインバウンドの消費が盛り上がっているが、地方都市においては効果はまだ限定的である。

食料品  
生鮮食品

- ・県道の通行止めの影響で売上が減少した。
- ・雪もなく、天気にも恵まれ人の動きも良かった。前半は昨年とあまり変わらなかったが後半はととも良かった。イオンモール松本が開店したが、変わらずお客様が来店してくださる有難い。

おやき

- ・バック売りの内容を変えたことで、売上が大幅に増加した。また今月より新規取引が決まり、生産体制を整えて売상을向上させていきたい。

薬局

- ・12月は各店キャンペーンを行った。そのため、当店も昨年に比べ客数が多くなった。景気が良いのか。

石油製品販売  
婦人服

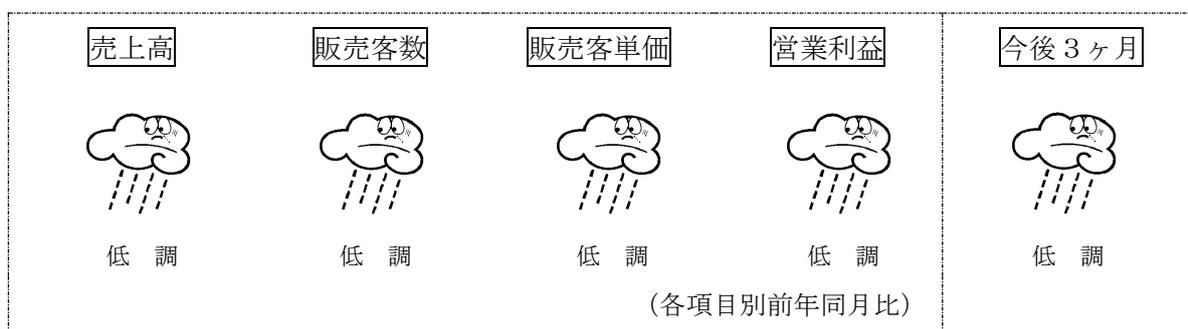
- ・仕入価格が上昇している。
- ・セールの前倒しが年々早くなり、12月がセール月となっているため年々12月は定価で売ることが難しくなっている。新年会や忘年会の際に、春物のニットやワンピースを着る方が増えていることあり、春物の売上が伸びた。

陶磁器

- ・「新型あずさに乗って来ました。」と自ら報告してくださる観光客の方が思いのほか多い。新型車両導入が松本へ訪れる動機となるとは思わなかった。しかし、その分東京への流出も多いのだろうか。デスティネーションキャンペーンは不発であったが意外なところに商機はあるものである。



## 5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲13.3	▲33.4	▲35.3	▲16.7	▲14.3	▲11.8	▲26.6	▲44.4	0.0	▲15.0	▲20.0	0.0	▲23.5
販売客数	▲20.0	▲33.4	▲35.3	▲11.1	▲14.3	▲5.9	▲33.3	▲38.9	▲12.5	▲10.0	▲20.0	5.9	▲23.5
販売客単価	▲13.3	▲6.6	▲35.3	5.6	▲14.3	▲11.7	▲26.7	▲33.3	6.3	▲15.0	▲25.0	0.0	▲23.5
営業利益	▲33.4	▲46.6	▲41.2	▲22.2	▲21.4	▲11.8	▲26.6	▲38.9	▲25.0	▲10.0	▲25.0	0.0	▲23.5
見通し	▲26.7	0.0	▲11.7	16.7	14.3	0.0	6.7	▲5.6	▲6.2	0.0	▲5.0	5.9	▲17.6

<経営者の目・見方・etc>

- そば
  - ・ガソリンや灯油の高騰、魚介類の値上がり。そして、今まで経験したことのない野菜の高値。当月は飲食業にとって大打撃であった。来年も厳しい年になるのではと心配である。
- 郷土料理
  - ・例年の忘年会はあったが急な予約は少なく、12月らしさをあまり感じなかった。
- 中華料理
  - ・忘年会の予約が取れないと厳しい。フリーのお客様はあまり見込めない。どう予約を取れるかが勝負である。
- 食堂
  - ・イオンモール松本が開店して3か月が経ち、平日は開店前の状態に戻りつつある。土日祝日の入込は相変わらず多い。中町から日の出町通りの歩行者は多くなったが車の渋滞はほとんど見られない。
- 料理
  - ・忘年会が少なく、寒さ厳しい盛り上がりの無い月であった。
- 寿司
  - ・寒い日もあったがそれほど雪は降らず、良い月であった。魚貝類の仕入価格も年末にしてはあまり高値にならず利益に繋がった。人出のある月で良かった。
  - ・依然として平常の営業は伸び悩んでいるが、忘年会や新年会の需要の高まりに加え、年越し、お正月といった特別な日の需要は単価と客数ともに上昇傾向にある。特に今年は年末にかけての株高など良い条件が揃ったこともあると思うが、今後も機会損失が出ないように計画的に進めたい。
- 喫茶
  - ・イオンモール松本の開店の影響を徐々に感じている。家族も見学を兼ねて何回も足を運んでいる。買い物はしていないが楽しい施設である様だ。街中の楽しさの創出とは何なのか真剣に考えなければいけない。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 11.6	8.9	▲ 4.6	▲ 5.0	0.0	2.4	▲ 22.0	▲ 4.2	4.9	0.0	▲ 2.5
販売客数	▲ 11.1	▲ 17.7	▲ 14.0	4.4	0.0	▲ 7.5	▲ 2.3	▲ 2.5	▲ 24.4	0.0	0.0	▲ 2.3	▲ 9.8
販売客単価	▲ 2.2	▲ 4.4	▲ 7.0	0.0	2.3	0.0	9.1	0.0	7.4	▲ 4.2	9.8	▲ 4.6	▲ 2.4
営業利益	▲ 17.8	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 2.2	▲ 14.0	▲ 7.5	▲ 2.3	4.9	▲ 24.4	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 2.3	▲ 9.8
見通し	2.2	8.9	0.0	6.6	7.0	▲ 5.0	4.5	0.0	▲ 4.9	8.5	▲ 4.9	0.0	0.0

## <経営者の目・見方・e t c>

- |                        |  |
|------------------------|--|
| ソフトウェア                 | ・都内からの請負を中心に、県内企業からもいくつか引合いの話を聞く。大規模データの扱いから企業活動を支援するIT活用の提案が求められているが、人手不足は深刻である。理論と現場に強い人材が欲しい。業界の構造的な問題が最大の原因と考えている。                 |
| マナー講師                  | ・一年の終わりということもあり、今月は特に研修はなく、定例の講座を行っている。新年度に向けて「接遇」を考える時期なので研修を検討してもらいたい。人は財産、すなわち「人財」である。考え方ひとつで仕事ははかどる。                               |
| 美容                     | ・美容業界は12月から成人式が終わる頃までは割と忙しい時期なので1月中旬から2月末までの閑散期の方まで伸ばしたいところであったが少し伸び悩んだ。   |
| 自動車整備                  | ・昨年よりは雪が積もることもなく、タイヤの交換と売れ行きが好調であった。今月の仕事量は例年より多かった。車検や事故車入庫が多く、年内中に完成させることが出来ない状況となってしまった。  |
| 不動産賃貸<br>獣医            | ・イオンモール松本が開店し3ヶ月を経過するも予想していたような混雑はない。<br>・手術が少なかったので売上が減少した。最近では犬と猫の飼育頭数が逆転し、猫の方が多くなってきた。新年は戌年なので、平成10年度から減少傾向にある犬の飼育頭数の増加を期待するところである。 |
| タクシー                   | ・忘年会シーズンで月初めの週末は天候が悪かったのでタクシーの需要が多かったが中旬以降の人の動きは前年並みで、売上高は前年を僅かに上回るに留まった。  |
| 機械設計                   | ・忙しさが続いている。特に半導体製造装置、自動車の安全機器装置はまだ増えそうである。   |
| 温泉旅館                   | ・消費の積極的な動きはまだ感じられない。価格は安い方へ流れている傾向は変わっていない。仕入価格は上がっていくが販売価格に転嫁出来ない。<br>・観光客、ビジネスマンの利用が低下。来年も心配である。                                     |
| ホテル                    | ・宿泊の先行予約数はあまり良くなかったが、直近になって伸びた。宴会は去年に比べ動きが良かった。<br>・寒波の影響もあり、年末にかけて宿泊のキャンセルがあり宿泊客数は伸び悩んだ。  |
| ホームクリーニング<br>・リネンサプライ業 | ・原油高が止まらない。今後石油製品の値上がり利益が利益を圧迫してきそうである。  |